

国府地域包括支援センター 担当

日 時： 令和 8 年 7 月 21 日（火）午後 13 時 50 分～14 時 10 分

会 場： 栃木市役所 401 会議室

事 例 数： 1 ケース（10 月 21 日検討した事例の振り返り）

参加者数： 11 名

事例提供者 1 名、助言者 7 名、包括職員 2 名

傍聴者 1 名

膝の痛みがあり、外出の機会が減少している 80 歳女性

〈目標〉1 日：内服薬をきちんと服用する。

1 年：家事や散歩を継続し、元気に過ごす。

利用サービス：通所型サービス（緩和）、介護予防福祉用具貸与、住宅改修

《前回会議での支援策》

支援方針：

- ・浮腫が続いているようであれば、婦人科や外科等で見てもらうことを勧める。
- ・歯科受診を早急に勧め、義歯の作り替えと、常時義歯を装着するように話をする。
- ・症状に合わせて、テオロング錠の処方について主治医に相談する。

助言内容：

- ①子宮頸がんの術後であり、浮腫の原因としてリンパ浮腫が考えられるため、婦人科、外科の受診を勧める。
- ②残存歯 4 本が虫歯になりやすい口腔内の状況、毎食後歯磨きをする習慣を付けるとよい。また、義歯を装着し、噛み合わせが良くなると食べられる食材が増えるため、まずは義歯を直すとよい。
- ③テオロング錠は相互作用のある薬のため、たばこの影響で効果が弱まることもあるため、注意するとよい。

《支援結果・状況》

- ①達成：膝の曲げ伸ばしをした方がよい事、重要性を伝え、浮腫みについては、自然に軽減した。
- ②未達成：歯磨き習慣の重要性、義歯装着をしないことへの悪影響を伝え、歯科受診を勧めた。歯磨きは毎食できるようになったが、義歯は全く使用できなくなってしまった。歯科受診も難しい状況。
- ③未達成：内服薬は一包化をし、家族が毎朝声掛けしていたが、声掛けに対して怒りだしてしまうため、自己管理で様子を見守っている状況。